

平成22年度第4回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

[開催]

開催日時 平成22年12月11日(土) 14:00～16:10

開催場所 あすみが丘プラザ2階 和室

出席者 委員19名中12名出席
事務局8名

[次第]

- 1 開会
- 2 委員長挨拶
- 3 議題
 - (1) 計画に対する意見聴取(中学生対象)
 - (2) 「第2期緑区地域福祉計画」イメージイラスト募集について
 - (3) パブリックコメントについて
 - (4) 市民説明会の開催結果について
 - (5) その他
- 4 閉会

[議事及び質疑要旨]

議題(1) 計画に対する意見聴取(中学生対象)

千葉市立土気中学校 A、B
千葉市立土気南中学校 C、D
千葉市立大椎中学校 E、F

以上の中学生から、下記について、それぞれの意見が出された。

①福祉について思っていること

生徒A：福祉教育研究大会の時、事故で眼の不自由な植草さんという方のお話で、スイスに観光に行った際、外国の人は自分にぶつからないように歩いてくれたり、楽しんでいただけるようにやさしく接してくれるのに、日本人は平気でぶつかったりする。観光に行っても、「なぜ目が見えないのに来ているのか」と言われたことに、すごく傷ついたということを聞きました。外国の人は、障害の有無によって差別したりしていないのに、日本人は、点字ブロックの上に自転車を置いたり、立ち話をしたりすることなく、やさしく接することができればよいのと思っています。

生徒B：ボランティア隊(14人)に所属しています。これは、人の役に立ちたいという人の集まりです。主な活動内容は、エコキャップ運動、落ち葉拾い、社会福祉研

究大会などです。エコキャップ運動とは、ペットボトルのふたをリサイクルすること。そして世界の病気で苦しむ子ども達を救うためにワクチンを買うために役立っています。落ち葉拾いは、植物の木々が道に落ちているので、それをきれいにしようという活動です。朝、学校の端から10分間、清掃します。これからも様々な活動に呼びかけ、人の役に立ちたいと思っています。

生徒C：今年の夏休みに、社会福祉法人 あしたば（中野学園）のボランティアに参加しました。出店のお手伝いをさせていただき、お手伝いできることがあることがわかりました。しかし、ボランティアの中で、1年生は3人しかいませんでしたので、ちょっと寂しかったです。もっと積極的にやっていただけた方がいたら、中野学園の人からも喜んでいただけたと思います。そこで、みんなが自主的に参加してくれたらなあと思いました。

生徒D：生徒と学校の役に立ちたいと思い生徒会の役員になりました。福祉とは誰かのために役立つということなので、それと同じことだと思っています。今年、おばあちゃんの家遊びに行った時、おじいちゃんを亡くしてから、少し目が悪くなってしまいました。ある日、おばあちゃんが道を歩いて、転んでしまった時、後ろの人から、「邪魔なんだよなあ」という声が聞こえてきたそうです。目の悪い人にも転ばないような仕組みのある道ができれば良いと思っています。

生徒E：小学校の時から、いろいろな話を聞いた中で、「少しでも助けてもらったりするとうれしい」と言っていました。それは心の問題だと思います。街などで障害者や高齢者の方々の駐車場がありますが、それを若い人たちが使用してたりします。すると他の人たちに迷惑をかけたりするので、福祉についての心が大事だと思います。

生徒F：今年の4月に、横浜から引っ越して来ました。以前の学校の友だちに、虐待されている人がいました。小・中学校の時に児童福祉に興味を持ち、調べてみたところ、2009年の児童虐待件数は、統計をとった1999年以降、最多となったとのこと。この事実、とても胸が痛みました。正直、自分の子どもを大切にできない親の気持ちが理解できませんでした。しかし、このような問題に関して、都道府県や政令指定都市の児童相談所の実態がわかり、少しでも社会が、児童対策へ積極的に行われれば良いと思いました。学校などでも、福祉についてビデオなどで教えてくれる時間をもっとあったらいいと思いました。

②福祉活動についての考え

- ・福祉活動に参加して思ったこと
- ・近所のお年寄りや障害者の生活から考えたこと
- ・新聞を読んで考えさせられたこと
- ・学校で学んだことから

生徒B：お年寄りの方が一番望むことは、お話しをするということなので、もっとお年寄りの方と交流を持つことが大事だと思います。

委員A：私の施設には、中学生が来たり、大学生も教員免許を取るために来たりします。終了後、感想文を読ませてもらうと、皆さんほとんどの方が、とっても良い経験

をしたと言っています。是非生徒の皆さんも施設などで、体験する時間がありましたら、積極的に行かれて、学校とは違う経験が得られると思います。

委員B：様々な中学校から職場体験ということで来ています。

生徒C：身体障害者の方のお手伝いをしましたが、話すことができませんでした。

生徒D：施設へはできたらボランティアで行ってみたいです。

委員C：土気地区では、高齢者に対して、いきいきサロンをやっていたり、子ども会に参加して、かるた取りやゲームなどをやっています。子どもはあまり、高齢者に馴染めなくて、始めはなかなかできないのですが、最後のプレゼント交換の時は、仲良くなりました。

委員D：椎名地区では、椎名小学校の小学校6年生が、お年寄のために、食事会を催してくれて、献立を考え、カロリー計算などを行っています。また、2～3人くらいで、お年寄り1人の話し相手になっています。

委員E：高齢者のお宅へ行って、庭の雑草取りをしています。有償ボランティアを派遣し、ゴミを捨てて、謝礼をいただいています。土気地区は坂道が多いので、ゴミを捨てるのが大変。中学生の皆さんも、そのような高齢者がいたら、学校へ行く前に、ゴミ捨てを手伝い、通学してくれたらと思います。

委員F：大椎台団地には「助け合いの会」というのがあって、送り迎えなどをやっています。また、元気かどうか確認するために、電話をしてお話をしたりしています。その他、見守りなどもやっています。

委員G：おゆみ野地区では、JR鎌取駅周辺にて、清掃活動を行っています。また、住民はほとんどが、他の地域から移り住んだ人たちです。地域での様々な行事に率先して参加する人は少ないです。地区部会の「障害者福祉委員会」では、障害者と触れ合うために、特別支援学級の生徒と交流などしています。

③緑区の福祉の現状の説明

- ・子どもの課題
- ・高齢者の課題
- ・障害者の課題

委員F：緑区の高齢化率は16%、同じ地域でも高齢者と若者が分かれて住んでいます。独り暮らしの方の中には、家事ができなかったり、買い物ができない方などがいます。老人ホームやグループホームに入らなければいけない人たちもいます。若い人たちにも、敬老会など地域の行事に積極的に参加して欲しいと思っています。また、セーフティーウォッチャーの一環として、高齢者の方を見かけたら、気軽に挨拶などしていただければと思います。障害者の方の中には、外見からわかる人もいればわからない人もいます。ちょっとした心遣いを持って接して欲しいと思います。席を譲ったり、信号を渡る際に手を貸してあげたり、点字ブロックの上に物を置かないなどすることだけでも、充分だと思います。

④緑区の福祉の現状を聞いて、感想、質問、意見、考え

- ・中学生としてどんな福祉活動ができますか。また、行動してみたいと思いますか。

委員H：私は耳が聞こえないのですが、手話に興味があれば、勉強して欲しいと思います。例えば、電車に乗っていて、急に停まると、どうして停まったのかわからないことがありますので、手話を使ったり紙に書いていただいて、積極的に教えていただければと思います。

- 委員 I : 障害者と健常者との思いやりが大事。共に生きようというノーマライゼーション（共生）が必要。先日、千葉県立袖ヶ浦特別支援学校に行って来ました。そこでは、リハビリテーションセンターと子ども病院が併設されています。生徒 300 人の約 8 割が知的障害と肢体不自由のある方です。しかし、とても皆元気で、明るかったのが印象的でした。
- 生徒 A : 高齢者や障害者の方と話しのできる、集会やひろばに参加して、一緒に接する機会を持ちたいと思いました。
- 生徒 B : 横断歩道でただ手を引くだけではないと思いました。また、電話で見守りをするだけでなく、手紙交換で交流することも一つの方法だと思いました。
- 生徒 C : 老人ホームや施設に行って中学生が、プレゼント交換をしたりして、ふれあうような機会があれば良いと思いました。
- 生徒 D : もしかしたら、何も知らない人が、障害者を避けることは仕方のないことかも知れませんが、だから、そのような人を理解する場や学校での授業があったらよいと思います。
- 生徒 E : 掃除をする機会があまりないので、地域の人々の声を聞いて、地域の掃除について考えてみたいと思いました。
- 生徒 F : 学校でもっと高齢者や障害者との交流があれば良いと思いました。また、手話を教えてもらったり、筆談で話しができれば良いと思いました。

⑤参加者（委員）の感想・質問

⑥まとめの感想

- 委員 J : 育成委員会の活動の中にも同じようなものがあり、年 1 回、道路掃除をやっています。
- 委員 C : 越智地域でも育成委員会が、自宅から学校までのゴミや缶拾いをやっています。また、敬老会では、中学生にお手伝いしていただいています。とても感謝しています。
- 委員 K : 誉田地区では、学校の教頭先生からのお願いで、老人クラブに「セーフティウォッチャーをやっていただけないか」という依頼を受けました。当初、下校時に声かけをやっていました。すると、生徒からソップを向けられていましたが、だんだん慣れてくると、お互い挨拶を交わすようになりました。
- 委員 E : エコキャップが 800 個で 20 円になることを初めて知りました。大人は簡単にキャップを捨ててしまいがちですが、街ぐるみの運動として、資金集めになれば良いと思います。
- 事務局 : エコキャップは、区役所と保健福祉センターでお受けさせていただいております。それを売却しワクチンを購入して、世界でワクチン接種ができない子ども達に使用しています。
- 委員 A : 中学生が施設へ来られると、施設の利用者もとても喜ばれますので、是非このような機会を増やしたいと思っています。
- 委員 D : 福祉をやろう、やろうと考えないでください。まずは、挨拶から初めて下さい。もし、お年寄りの方を見かけて、シルバーカートを押して段差があつて困っているようだったら、前を持ち上げてあげるなどお手伝いしてあげて下さい。今日から、明日からできることから始めてください。それが、自然に福祉になると思います。
- 委員 G : 挨拶というのは、一番の基本だと思います。

委員 I：3～4年前に越智中学校で、緑区の青少年育成委員会ブロック研修会がありました。その際、エコキャップの全校運動を最初にやって成功しました。成功した要因のひとつとして、学校内で問題のある生徒も一緒になって取り組んだことが挙げられます。

⑦お礼の言葉

委員 L：私個人的にですが、おゆみ野女性の会で、オレンジリボンキャンペーンとして、子どもへの虐待防止運動に努めています。また、本日はどうもありがとうございました。

議題（2）「第2期緑区地域福祉計画」イメージイラスト募集について

中学生を対象に、緑区の地域福祉をイメージしたイラスト作品（未発表のもの）を募集します。詳細については、1月15日発行のちば市政だよりに掲載予定。

議題（3）パブリックコメントについて

①期 間 1月15日（土）～2月14日（月）

②公表場所 地域福祉課、市政情報室、区役所総務課、保健福祉センター、図書館、ホームページ

詳しくは平成23年1月15日号の市政だよりに掲載予定

議題（4）市民説明会の開催結果について

1月13日（土） 緑区 13名の参加者。

配布資料 第2期千葉市地域福祉計画（案）にて、前期の計画にはなかった「取組事項⑩各区地域福祉計画推進のための支援」を新たに追記。